

会 議 録

会 議 名	第2回竜王山公園オートキャンプ場指定管理者選定委員会
開 催 日 時	令和5年11月8日(水) 午前9時30分～午前11時25分
開 催 場 所	山陽小野田市役所 3階 大会議室
出 席 者	市職員4名、委員2名
応 募 団 体	株式会社 晃栄
会 議 次 第	<p>1 開会</p> <p>2 事前説明</p> <p>(1) 本日のスケジュールについて (審査方法、応募者への結果通知、今後のスケジュール等説明)</p> <p>(2) 第1回選定委員会からの変更点について</p> <p>(3) 事務局審査について</p> <p>(4) 提案内容の整理について ～応募者入室～</p> <p>3 審査</p> <p>(1) 応募者のプレゼンテーション 20分以内</p> <p>(2) 質疑応答 15分程度</p> <p>(3) 応募者退席</p> <p>(4) 審査基準表記入 10分程度</p> <p>(5) 休憩 10分程度 ※この間に審査基準表集計</p> <p>(6) 集計結果の発表 (最高得点、最低得点、平均点、異常値の有無等)</p> <p>(7) 委員による意見交換、採決</p> <p>4 閉会</p>
会 議 内 容	<p>1 開会</p> <p>2 事前説明</p> <p>(1) 本日のスケジュールについて (審査方法、応募者への結果通知、今後のスケジュール等説明) 事務局から説明、質疑応答なし。</p> <p>(2) 第1回選定委員会からの変更点について 事務局から説明、質疑応答なし。</p>

(3) 事務局審査について

事務局から説明、以下、質疑応答。

【委員】事務局審査について、社会貢献において幅広く活動している団体であるが、20番を2点にした理由について聞かせて欲しい。

【事務局】社会的貢献度は書類を確認した上、判断して、2点に決めた。

【委員】主観的な判断よりも、客観的な判断で決める方が相応しい。指定管理事業の決算書がついていない。継続する団体は決算書があったほうが良い。

### 3 審査

(1)～(3)応募者のプレゼンテーション、質疑応答、応募者退席

○株式会社晃栄によるプレゼンテーション

以下、質疑応答。

【委員】ソロキャンプについて聞かせて欲しい。

【(株)晃栄】ソロキャンプの利用者は増えている。初心者は何も持たないまま、キャンプ場を利用する。

【委員】他市では手ぶらで対応できるキャンプ場がある。利用者にとって使いやすいキャンプ場が近隣でできている。

また、キャンプ場は入りやすく、入口に駐車しにくい。地元の人が使いやすいよう工夫をすれば、集客につながる。

【(株)晃栄】入口の駐車場は狭く、下の駐車場は遠くて困っている。

【委員】臨時駐車場が使えるように、事務局と連携を図っていくと良い。

【委員】職員の配置について、24時間稼働中の職員の人員について聞かせて欲しい。

【(株)晃栄】基本8時から17時まで[ ]で、17時から翌朝8時まで[ ]がいる。

【委員】イベントを行う際に、企画されている職員の配置はどうなっているか。

【(株)晃栄】これまでは配置していなかったが、今回からはキャンプの好きな若手職員を配置する。決定ではないが、ホームセンターとコラボして何か事業を展開する予定である。

【委員】収支計画の中で、令和8年度から売店の売り上げがアップしているのはなぜか。

【榊晃栄】利用者の増加に伴って、自動販売機の売上は期待するほど伸びない。売店は3年目で若干増えると見込んで増額とした。

【委員】 ████████ は利用者によく話すことはあるか。また、利用者から質問を受けたりすることもあるか。

【榊晃栄】利用者には施設の利用に関する提案をする。利用者同士のトラブルの仲介をすることもある。逆に利用者から教えてもらうことも多くある。

【委員】地域連携事業の取組について聞かせて欲しい。

【榊晃栄】ガラス未来館の利用者がキャンプ場を利用することは想定しがたい。むしろ、キャンプ場の利用者を増やして、ガラス未来館に行ってもらう方が可能性は高い。今後、市内の観光PRを積極的に行う。

【委員】焼野地区の交流人口について、本日のプレゼンテーションに出てきていないが、それについて伺いたい。

【榊晃栄】以前からイベントをしているが、お金がかかる。かけただけ、キャンプ利用に反映してこない。キャンプ利用者を最大限に増やすことが一番大事である。

【委員】ガラス未来館とのつながりについて何かお考えはあるか。

【榊晃栄】交流館であれば、キャンプ利用者に交流館とパックのようなものを提供できるが、実現するには交流館と協議が必要である。

【委員】自主事業の考え方についてお伺いしたい。

【榊晃栄】イベントをやっても黒字につながっていない。キャンプメーカーと一緒に、キャンプ用品を販売し、黒字化を考えている。

【委員】その話は可能性の高いものであるか。

【榊晃栄】現在、ホームセンターと話を進めている。

【委員】利用者ニーズについて、アンケート以外で、ニーズを把握する方法はあるか。

【榊晃栄】従業員が利用者から直接聞き取った内容やネットの書込み等で把握している。

【委員】山口東京理科大学との連携について考えているか。

【榊晃栄】理科大との地域連携は特に考えていない。

○榊晃栄退席

○事務局審査についての協議

【事務局】事務局審査の補足の説明を行う、審査項目22番収支計画の妥当性について、総括すれば、2点が妥当であると思う。

【委員】事務局審査でいくということと事務局が2点を提示したということによろしいか。

【事務局】はい、そのとおりである。

(4)審査基準表記入

(5)休憩 ※この間に事務局にて審査基準表集計

(6)集計結果の発表

- ・株式会社晃栄 : 67.0点  
(基準点の50点を上回った。)

(7)委員による意見交換、採決

集計結果から、株式会社晃栄を指定管理者候補者とするについての採決を行った。

<<全員賛成>>

4 閉会

午前11時25分

第2回山陽小野田市指定管理者選定委員会終了